

あなたを守る防災学習 「あなたはどちら側？」

災害発生！あなたは助ける人？助けてもらう人？どちらになるのでしょうか？

それはその時にならないと誰にも判りません！「絶対に私は大丈夫！」と信じていても、あなたが想像する、あなたの頭の中の想定よりもはるかに大きな災害だったとしたら、間違いなく「あなたは助けられる側になるはずですよ！」

さて、みなさんの多くは「災害時になれば、当然、人を助ける志はある」はずですよ。でも、はたして志だけで人を助けることができるのでしょうか？

例えば、海や川へ遊びに行った時に、子どもが溺れたとすると、ほとんどの人は「助けたい！助けるんだ」と思うでしょう。しかし、自分が泳げなければ助けることはできませんし、助ける方法を知っていなければ、二次災害を引き起こすだけです。自分に泳ぐ力があって初めて人を助ける



ことができたり、泳ぎが下手でも最初からライフジャケットなどを用意していれば助けることができます。もっと言えば、水辺に遊びに行くときには、子どもだけでなく、大人もライフジャケットを最初から着ていれば、「死に至る」ことが最小限に抑えられます。そう言う知識もちょっと「頭の中で想定」することで楽しい行楽の一日を過ごすことができるのです。

ライフジャケットを着るって、大事なことなんだね。



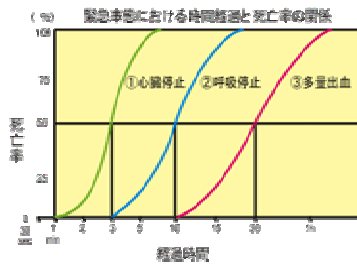
大災害発生時も同じ延長線上にあります。過去の大震災では死亡に至らしめた多くの原因が家屋の倒壊や家具の転倒などで挟まれ圧死したと言うことです。であれば「家の耐震化」「家具の転倒防止」などを行っていれば助かる可能性は限りなく高くなります。

身近なことでは、家族が倒れた「心停止・呼吸停止している」とわかっていても、心肺蘇生法を知っていなければ、助かるはずの命も助かりません！救急車に連絡したから「もう大丈夫」と落ち着いていたなら、あれよあれよという間にあなたの大切な人が亡くなってしまったり、せっかく助かってでも社会復帰できなくなってしまいます。救急車が要請を受けてから現場に到着するまでの時間は



6～7分です。救急車到着までのその6～7分間が生命を大きく左右します。心臓停止後3分で死亡率50%、呼吸停止後10分で死亡率50%になります。最近よくテレビで救急(119)に電話して、電話で心肺蘇生法を教えてもらいながら行って助かったと言う事例を見ます。であれば心肺蘇生法学習会(普通救命講習会)に1度でも参加していたなら、もっと早く応急手当が開始できAEDを使用できるなら、あなたの大切な人を社会復帰ができるように助けることができるのですよ。そう言った「想定のための知識や題材」を増やす意味でも「家族で防災会議」をしてみましょうね。

6～7分です。救急車到着までのその6～7分間が生命



を大きく左右します。心臓停止後3分で死亡率50%、呼吸停止後10分で死亡率50%になります。最近よくテレビで救急(119)に電話

して、電話で心肺蘇生法を教えてもらいながら行って助かったと言う事例を見ます。であれば心肺蘇生法学習会(普通救命講習会)に1度でも参加していたなら、もっと早く応急手当が開始できAEDを使用できるなら、あなたの大切な人を社会復帰ができるように助けることができるのですよ。

そう言った「想定のための知識や題材」を増やす意味でも「家族で防災会議」をしてみましょうね。



災害発生時協力します

町内チャンピオンマップを登録募集！

災害時は決して一人では生きていけません。家族だけは助けられると思っても「想定外」が発生すれば、他人の助けが必要になります。

普段は忙しいあなたも、また地域とのかかわりがちょっと苦手なあなたも、災害は「自分の命、自分の大切な人の命」に関わる問題です。災害の時だけでいいので、是非ともご協力ください。

あなたが家族の安全確認をした後、隣り近所であなたの力を必要としている時に、あなたの仕事・趣味等の知識や力でスムーズに救助活動が行えるように、また、充分力を発揮できるように「あなたの持っている特技」や「自分でも協力できそうなこと」を登録してください。

災害発生時、自分一人や自分の家族だけの対応は不可能です。でも、多くの人が集まれば色々な事への対応が可能になるはずですよ。「子守ならできる」「何でもやります」「お手伝いであればやります」「炊き出しできます」「防災井戸から水を運べます」「力仕事ならできます」等、何でも登録いただき、いざというときグリーンシティの支えにします。また、お年寄りの方や傷病者、障害をお持ちの方がいらっしゃるご家庭等に、少しでも早く声かけをするために、「災害時にひと声かけてください登録」にもご遠慮なく登録してくださいね。「町内チャンピオンマップ」は、災害に強いまちづくり、地域づくり、そして私たち自身の準備に役立つ取り組みです。

後日、登録用紙を各戸に配布いたしますので、是非ともよろしくお願ひします。

「フェニックス共済」に加入しよう！
被災した住宅の再建をみんなで支え合う「兵庫県住宅再建共済制度・フェニックス共済」の輪を広げよう！